

地蔵尊

喜連旧村の集落は昭和36年(1961)まで、中世からの濠に囲まれた「環濠集落」でした。中高野街道などの主要道に通じる集落の出入口には、数百年の間、集落を守るため地域の住民によって祀られてきた地蔵尊があります。

喜連・東喜連では毎年8月23～24日には地蔵盆が催され地蔵堂は子供たちで賑わっています。



② 西口地蔵
集落の西出入口に祀られ、室内には首地蔵や「明治15年西金若中」銘の香炉がある。昔は葬礼や嫁入りの行列が堂前の道「中小路」を通行。堂西側には環濠の石垣が埋っている。



④ 馬倉地蔵
南に架かる馬場先橋の向岸にあったが、環濠埋め立てで濠の会所樹上に移設。江戸時代はこの北側に馬繋ぎ場で、楯原神社鳥居までの幅4間、長さ80間の道が馬場であった。



⑥ 尻矢口地蔵
集落の東北(鬼門)出入口に祀られ、尻矢口とは旧喜連城(現如願寺)の後方矢口である。堂の東の大櫓や北西の大榎(喜連幼稚園庭)の古木が今もかつての環濠風景を偲ばせる。



① 北口地蔵
1530年代集落の北出入口に祀られ、1877年に地蔵堂が再建される。堂前には中高野街道で、広い軒は雨宿りに利用された。1955年頃まで堂北側の環濠には「松山橋」があった。



③ 南口地蔵
集落の南出入口に祀られていたが、環濠の埋立てに伴い、現在地に移設。室内には本尊の他2体の石仏があり、旧町割り「南町(みなんじょ)」の有志の請で護持されてきた。



⑤ 東口地蔵
集落の東出入口に祀られ、堂内の本尊両脇に小石仏が2体ある。堂の西側に1847年建立の大神宮常夜灯があった(楯原神社南入口に移設)。中喜連村の伊勢参り講の存在を示す。



⑦ 東喜連南口地蔵
1816年村絵図から元は東喜連村南口の地蔵尊と思われる。今は南の河野村との中間点にある。堂内の2体の焼けた石仏が、中世の村を護り、1791年の堂建立に至る歩みを語る。



喜連環濠地区について

喜連(キレ)は伎人(くれひと)のクレが訛った地名(本居宣長「古事記伝」)で、伎人とは大陸文化をもたらした大陸からの渡来人のことです。縄文時代、海面は今よりも高く、喜連は古代河内湾南岸の良港で、大陸文化の玄関港でした。この入江の最奥部である瓜破遺跡では500～550年頃の準構造船が発掘されています。古墳時代後期には、住吉津から喜連を経て飛鳥に繋がる磯齒津路(しはつみち)(現長居公園通沿い)がありました。

奈良時代には、喜連の馬史国人が詠んだ【にほ鳥の於吉奈我河は絶えぬとも 君に語らむ言尽きめやも】(万葉集巻二十)の歌があります。息長河は古代氏族の息長氏により現長居公園通沿いに開削された喜連西一帯～現今川に続く河と思われます。

中世、喜連全体は如願寺を主館とした深さ3mの環濠(堀)で囲まれた喜連城となり、南北朝の戦乱、応仁の乱、大坂夏の陣を経て、袋小路の多い街並みで構成された環濠集落としての形態が今日まで残りました。

江戸時代には、環濠は農業用水路に変わり、中高野街道沿いには酒・油・薬などの地場産業が生まれ、村には今に残る歴史的建造物である寺社や古民家が建ち、また、環濠の六出入口には地蔵尊が祀られました。

戦後、喜連では周辺に地下鉄や大規模商業施設ができ、環濠も下水道整備され、生活しやすいまちになりました。現在でも、喜連には歴史的遺産や伝統的行事が多く残っていますので、これらを護り、まちの落ち着いた綺麗さ、住民のやすらぎや賑わいを継承して行きましょう。

喜連の歴史案内板



寺



① 真言宗御室派 霊峰山 如願寺
寺伝では元は580年代聖徳太子創建の喜連寺。善法寺等7寺を擁す大伽藍だった。817年弘法大師が衰退を嘆き再建と伝える。大棟の鰐鯨、鍛冶(兜形)の屋根は中世喜連城を想起させる。



③ 浄土真宗大谷派 空楽山 専稱寺
1571年僧恵光により本願寺末の道場開創。信玄公家臣の沼田重光が出家して空楽坊行晴と号し、山号もそれに由来。淀川区にある空楽寺の縁起を記す巻物を伝承している。



⑤ 融通念仏宗 一向山 専念寺
1597年に創建され、道善上人が開祖。山号は経文「一向専念無量寿佛」による。寺には服部規氏奉納の「大般若経」と十六善神図があり、毎年11月3日に大般若経転読法要を実施する。



⑦ 浄土真宗本願寺派 梅光山 教西寺
1531年道場が創建され、古代阿弥陀寺の本尊阿弥陀像を継承している。「天明七歳喜連河野村」の喚鐘銘は東喜連と異なる独自の村意識を伝える。平成27年老朽化に伴い再建。



② 浄土真宗大谷派 中野山 寶圓寺
15世紀末久宝寺の慈願寺法円に帰依した西喜連村惣道場が前身。1630年白川郷中野照蓮寺の寛能を招き寺院化。耐震化解体修復で現本堂が1730年築と判明。



④ 融通念仏宗 南源院 遍照山 法明寺
1347年融通念仏宗中興の祖法明上人が創建。江戸時代は中本山で、壁の5本線がその格式を示す。平成26年下別時間連仏画群として、銅喚鐘等13点が大阪市有形文化財に指定。



⑥ 浄土真宗本願寺派 十方山 法性寺
1520年代藤本善之丞玄了道場創建。宝永地震後藤本傳右衛門が再建し寺院化。江戸中期からの寺子屋を母体に明治5年学制発布でここに喜連小学校が誕生。廃絶した寶林寺の本尊・喚鐘を伝承。



⑧ 浄土真宗大谷派 法輪山 傳了寺
1498年僧眞觀が東喜連村惣道場として創建。親鸞聖人より先に蓮如上人絵像を戴いており、蓮如に帰依し、真言宗より改宗したことを物語る。阪神淡路大震災の3年後に本堂を再建。